



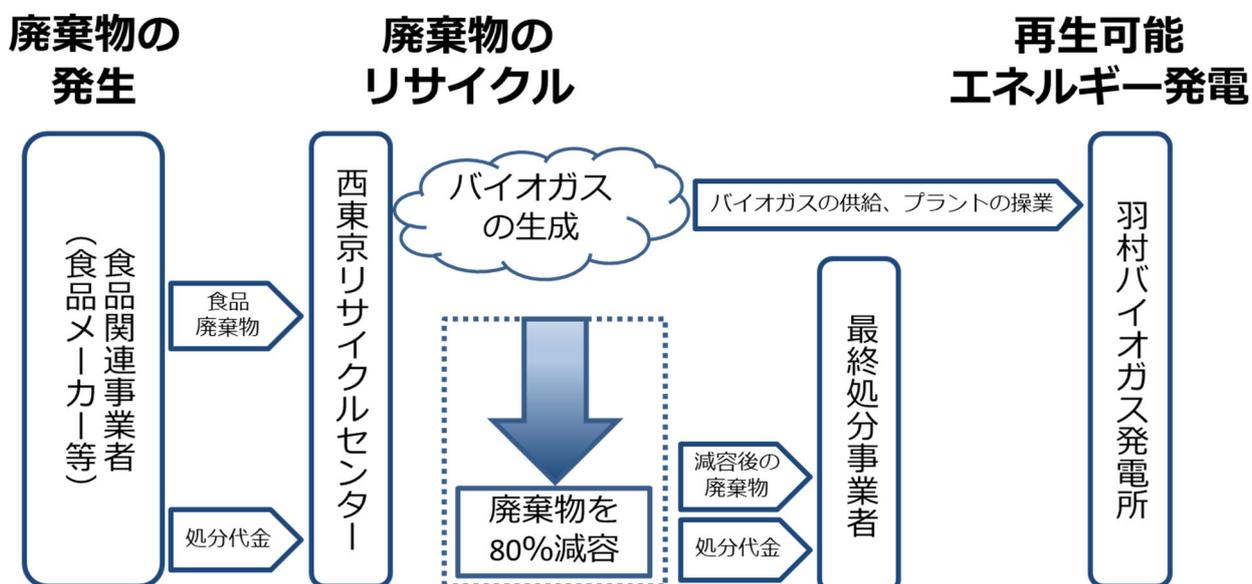
2020年8月19日

会社名 日本アジア投資株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 下村 哲朗
(コード番号 8518 東証一部)
問い合わせ先 執行役員 岸本 謙司
TEL 03(3259)8518

(株)西東京リサイクルセンターによる バイオガスを生成する食品リサイクル事業開始のお知らせ

日本アジア投資株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:下村 哲朗、以下:当社)は、当社の投資先である株式会社西東京リサイクルセンター(本社工場:東京都羽村市、代表取締役:植田 徹也、以下:NRC)が、産業廃棄物処分業許可を取得し、食品リサイクル事業を開始したことをお知らせいたします。

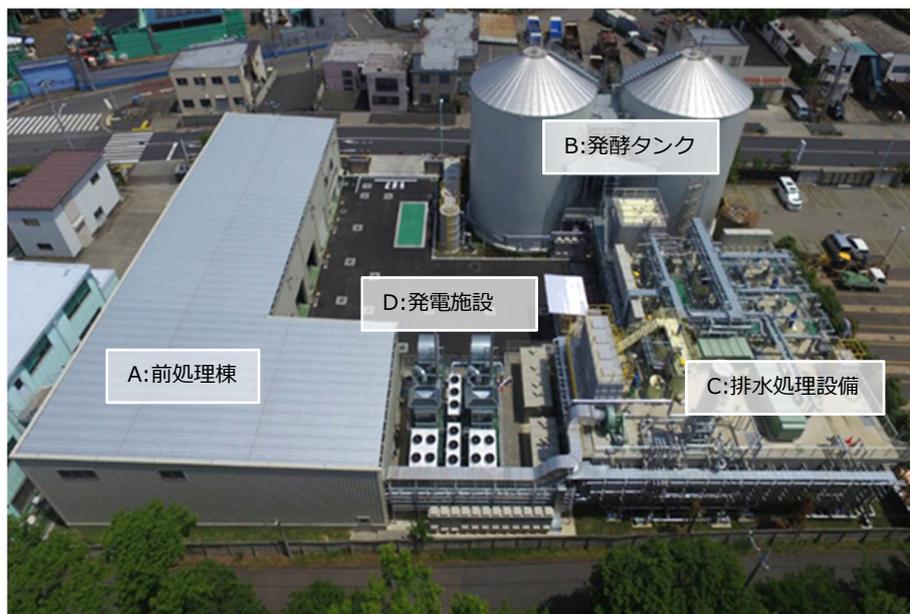
NRCは食品工場などの食品関連事業者から対価を得て食品廃棄物を引き取り、メタン発酵を用いて食品廃棄物を80%程度減容し、その過程でバイオガス(メタンガス)を生成します。生成されたバイオガスは、再生可能エネルギーとして羽村バイオガス発電所において発電に利用されます。NRCは、同発電所のオペレーターとしてバイオガスプラントの操業も担っています。



食品廃棄物は、食品の製造過程において大量に発生します。日本では食品リサイクル法により、食品関連事業者に対して、食品廃棄物のリサイクルを促しています。食品廃棄物のリサイクルとは、本来ならそのまま焼却・埋め立て処分される食品廃棄物を減量・減容するとともに、資源として再利用することです。NRCは、メタン発酵を用いて食品廃棄物を減量・減容するとともに、生成したバイオガスを発電に用いることで食品リサイクルを実現します。

NRC は、羽村バイオガス発電所のオペレーターとしてプラントの操業を担っています。同プラントでは、最大日量 80 トンの食品廃棄物を処理することが可能です。今般、NRC が産業廃棄物処分業許可を取得したことで、食品関連事業者から対価を得て廃棄物を受け入れることが可能となりましたので、本格的に操業を行ってまいります。

羽村バイオガス発電所 全景



A:前処理棟：

食品廃棄物と、メタン発酵に適さないプラスチック容器などの包装資材を分別した上で、様々な種類の食品廃棄物をメタン発酵に適した状態に調合します。

B:発酵タンク：

36℃から 40℃に温度調整されたタンクの中で、メタン菌による発酵を行います。メタン菌が有機物を分解する際に、バイオガスが発生します。

C:排水処理設備：

メタン発酵後の液体を、法に定められた放流基準値以下まで適正に処理し、下水に放流します。

D:発電施設：

発酵タンクで発生したバイオガスは、硫化水素や水蒸気など発電機へ悪影響を及ぼす物質も含まれています。それらを除去した後、ガスエンジンで電気エネルギーと熱エネルギーを生み出します。電気は再生可能エネルギー発電の電源として供給され、熱は場内で有効利用されます。

当社は、投資会社としての事業活動を通じて、社会・環境問題をはじめとするサステナビリティ（持続可能性）を巡る課題について取り組みます。日本とアジアをつなぐ投資会社として、少子高齢化が進む社会に、安心・安全で質と生産性の高い未来を創ることを経営理念に掲げ、再生可能エネルギー、スマートアグリ、ヘルスケア、ディストリビューションセンター、を注力分野として投資活動を行っています。

当社は、経営理念の実現に向けて、今後も NRC を支援し、サステナブルな社会の実現に向けたソリューションを提供してまいります。

会社概要 株式会社西東京リサイクルセンター

本社工場 東京都羽村市緑ヶ丘3丁目3番3  **NRC** 西東京リサイクルセンター
代表取締役 植田 徹也
設立 2015年7月
URL <https://nrc.tokyo.jp/>

会社概要 日本アジア投資株式会社

本社所在地 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地
代表取締役社長 下村 哲朗
設立 1981年7月
URL <https://www.jaic-vc.co.jp/>



以上

【お問い合わせ先】

日本アジア投資株式会社 管理グループ 丸山 (ir@jaic-vc.co.jp)